



王ーだより

令和5年11月号
北区立王子第一小学校
校長 岡本直美

教育目標 ㊦仲良く助け合う子 ㊧身体をきたえ元気な子 ㊨よく考え最後までやりぬく子 ㊩親切で礼儀正しい子

「ぴかいち笑顔」のぴかリンピック

副校長 水元 満哉

今年度のぴかリンピック（運動会）は、児童観覧日・保護者観覧日の両日共に、爽やかな秋晴れの下、盛大に終わることができました。

今年度は、様々な行事の関係で、秋の開催となりました。ぴかリンピックを、よりよいものにするために、夏休み前から準備に取りかかり、2学年編成で表現・団体競技に取り組みました。最初の全体練習では、代表委員会が、全校児童にスローガンを発表しました。「力を合わせて ぴかいち笑顔 全カパワー！！ ぴかリンピック」を振りも付けながら発表したことで、子供たちの雰囲気が一気に盛り上がりました。

2学年を中心に実施することには、様々な困難もありましたが、大きな収穫も得られました。上の学年は、お兄さんお姉さんとして手本を示したり、優しくふりを教えてあげたりしました。下の学年は、上の学年に憧れながら、「負けないように一緒に力を合わせてがんばろう」という姿が見られました。2学年合同の取組は、貴重な異学年交流となり、これから学校生活を送っていく中で、大切なことを学ぶ機会になったと感じました。

ぴかリンピックを成功で終わることができたことは、何より児童一人一人が懸命に取り組んだからこそです。これから、王ーフェスタや展覧会と様々な行事が続きます。子供たち一人一人がこれからも輝き成長していく姿を見られることを楽しみにしています。

本番当日、児童だけでなく、多くの保護者や地域の方にご観覧いただけたことは、子供たちの喜びにつながったと思います。お忙しい中、子供たちの体調管理に努めていただいた保護者の皆様、音楽や児童の大きなかけ声が響く中でも見守ってくださった地域の皆様、当日までの準備や当日のお手伝いをいただいたPTAの皆様、誠にありがとうございました。

『 さらに輝け！ぴかいち笑顔のぴかいちキッズ！ 』

最後に、閉会式での6年生代表児童の言葉を掲載します。本番では、堂々と発表しました。

児童代表の言葉

6年1組 大峰 夕璃歌

今年のぴかリンピックでは、表現や競技を二つの学年で一緒に行うことで、同い年の友達とだけでは味わえない感覚が味わえます。

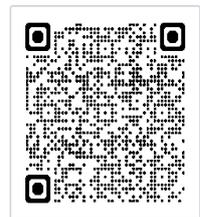
高学年は王ーの伝統「ソーラン節」五年生と互いに見合っ、共に高め合いました。当日は今までの頑張りをすべて発揮し、五、六年生みんな楽しくソーラン節ができました。

高学年選抜混合リレーでは、チームのみんなと必死に練習を重ね、本番では全力で、勝ち負け関係なく楽しく競技ができ、嬉しかったです。

今年のぴかリンピックを通して、仲間と交流し、苦楽を共にしました。甘えることなく、一緒により高みを目指した仲間へ感謝しています。指導してくださった先生方、私達の体調を気遣い、応援してくださったお家の方々、多くの方々との繋がりがあってぴかリンピックの成功があります。ありがとうございました。

（一部要約）

【王ー小ホームページ】
<https://www.city.kitakyuou.jp/gakkoshien/kosodate/shogakko/gakkojoho/kuritsu/oji-dail/index.html>



※インフルエンザが流行しております。本校でも9月・10月に2学級で学級閉鎖を行うなど、まだまだ予断を許さない状況です。学校でも、手洗いの励行や消毒等を行っておりますが、ご家庭でも健康管理に気を付けていただき、子供たちが健康に学校生活を送ることができるように、ご協力よろしくをお願いします。出席停止の用紙は、ホームページにも掲載されていますので、ご参照ください。